

# 10月の中小企業月次景況調査(茨城県)

[平成30年10月末現在]

平成30年11月12日  
茨城県中小企業団体中央会

売上高が大幅に改善したものの、原油高や人手不足による人件費の増加により収益状況の伸びは売上高に比べると鈍かった。

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」「売上高」「収益状況」はすべて改善した。

業種別に見ると、製造業では、「売上高」「収益状況」は改善したが、「景況」は変化がなかった。非製造業では、「売上高」「収益状況」「景況」はすべて改善した。

## 景況DI

製造業は、前月比で変化なしの-3.8ポイント、非製造業は、前月比12.5ポイント改善の-8.3ポイント、全体では、前月比6.0ポイント改善の-6.0ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比30.8ポイント改善の15.4ポイント、非製造業は、前月比45.9ポイント改善の29.2ポイント、全体では、前月比38.0ポイント改善の22.0ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比11.5ポイント改善の0.0ポイント、非製造業は、前月比16.7ポイント改善の-8.3ポイント、全体では、前月比14.0ポイント改善の-4.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

平成30年10月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン	10月より茨城県の最低賃金が改定になり、前年より26円上昇した。近年は前年比20円以上の上昇が続いており、中小企業にとっては人手不足と共に深刻な問題である。上昇することに対しては反対しないが、ゆるやかな上昇をお願いしたい。
	餡	
	味噌	
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県の課税移出数量は、8月の県南地区の中心蔵元が大目受注（吟醸酒）による特殊要因もあり、県内全体を前年同月比103.3%まで押し上げたが、一過性の受注であったため、9月は前年同月比90%前後まで落ち込んだ。当県全体の底上げのためには、普通酒の販路拡大に期待したい。焼酎における9月の課税移出数量は、前年同月比90.4%と低調に推移。8月の輸出免税数量は前年同月比105.9%と伸びが増加傾向にあり、9月は二桁の伸びが期待できる。 ○県内当業界について 当組合は、10月1日の「全国一斉日本酒で乾杯」においては、県内20社の蔵元が自慢の酒を持参し、各地域の特色ある銘酒を味わっていただくことができた。会場の水戸京成ホテルにおいては、乾杯条例施行自治体9市の首長（代理）が出席し、各自治体の観光PRと伝統文化継承事業についても紹介するなど、発信力の強化に繋がった。
	納豆	健康食ブームにより、納豆の消費量は増加している。 原油高により、燃料代・物流費が上昇している。 収益は好転しているが、人手不足による人件費の上昇をはじめコスト増により今後は厳しい状況になっていくのではないかと考えられる。
	菓子	人手不足により操業度が若干低下している。 大口の受注が若干増加した。
繊維工業	織物	
	袋物	売上は良好。受注量が増え、問い合わせも多くなってきている。このような時に新規顧客を確保していきたい。
	衣服	
木材・木製品	製材	需要期に入ったが、県内の需要は前月に引き続き低調。地元中心の販売店・工務店は、小口の受注に終始している。非住宅向けの需要は堅調さがみられるが、戸建て向けは軟調。地元中心の工務店は、増築・改築が主で荷動きが冴えない状況である。 市況は全体的に保合で推移した。
	県北地区プレカット	例年通りの秋の需要で、10月も順調に受注が入ってきた。しかし、肝心の材料の入荷が悪く計画生産ができない状況。そのため、生産能力が上がり苦勞している。11月についても引き続き順調に受注が入る予定である。
	県東地区プレカット	10月は受注が多かった。加工から出荷までの納期が短い物件が多く生産工程に苦勞したが、残業・休日出勤などで出荷の遅れもなく対応することができた。 年末にかけて大型物件の受注も多く入ってきているため、忙しい状況が続くようである。
紙・紙加工品	段ボール	11月から原紙価格が値上がりするため、前年と比べて受注量が多かった。今後は取引先に価格の改正をお願いするが、すべての取引先が了承するのは難しいため減益となる可能性が高い。 今後、我々中小企業が生き残れるか心配である。
印刷	総合	
化学・ゴム	自動車部品	月末にかけて退職する従業員が多数みられた。そのため、11月以降の繁忙期に向けた人員の確保が急務となっている。また、65歳以上の再雇用や若年層の積極的な雇用も課題となってきている。
窯業・土石製品	石材	
	コンクリート製品	
	焼物	笠間焼産地業界では、海外への販路を求めて、現地の展示会への出品や海外への作品送付等を行う事業者が増加している。今後、このような事業者が一段と増加することが考えられる。
	生コンクリート	
鉄鋼・金属	鍍金	受注量は前年並みで全体的に好調であったが、企業間で差があった。 金属材料は、貴金属・亜鉛・ニッケル等、軒並み値上がりの状態である。工業薬品については前年並みで大きな変動は無い。 電気料金は前年並みだが、灯油・燃料代は大きく値上がりしている。
	鋳造	

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

平成30年10月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	精密機器		
	一般機器	工業団地 対象7組合員(製造会社)の10月の売上状況は、前年同月比で増加が6社・減少が1社となり、全体増減率は106%であった。 国内向け農業機械の売れ行きが鈍かったため、当該部品が主体の組合員1社の売上は減少となった。しかし、輸出向け及びエンジン部品の生産は好調だったため、上記1社を除く他の組合員の売上は堅調であった。このような傾向は今後も継続される見込みである。	
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	売上は比較的安定しているが、収益は若干減少している。
		輸送車両	
	その他の製造業		
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比1.45%の減少となった。 前年は不漁だったサンマやサケの入荷量が増加し、値段は2~3割低下した。 スルメイカなど不漁が続く品目は高値が続いている。
		県南地区卸	売上高は全体的に若干増加傾向であった。しかし、諸経費の増加により収益に変化はなかった。
		食品卸売業	10月は、野菜果実合計で前年同月比116%の取扱高となった。 野菜に関しては、10月上旬の台風上陸による塩害や生育不良の影響で、数量減・単価高となった。しかし、前年は出荷量が多く安値で推移していたため、今年は平年対比でみれば若干の単価高で推移している。 果実に関しても台風の影響で単価高で推移した。
		セメント卸	袋セメントの出荷量は、前年同月比14%の増加となった。前月の出荷が雨天続きのため前年同月比23%の減少だったため、その反動で増加したと考えられる。
	小売業	県北地区共同店舗	前倒しした売出しの効果により前年同月比で売上101.8%、客数137.9%となり、行楽シーズンにも関わらず好調だった。
		県央地区共同店舗	3日間実施した会員向けセールが好調であったため、月間の売上は前年同月比102%を確保することができた。
		県南地区共同店舗	地域と一体になり、当組合敷地内においてのイベントや一部フロアの売り場レイアウトの見直し等があり、すべての店舗で前年同月より売上が増加した。また、苦戦が続いていた衣料品も気温の低下に伴い売れ行きが戻り好調だった。 業種別の売上は、前年同月比で衣料品が108.2%、文化品105.3%、食料品106.0%、飲食104.8%となった。
		クレジット	
		クレジット	
		家電	12月のチューナー内蔵テレビの発売を前に、4K・8K関連の研修により知識を深めた。また、LED照明関連や高齢者無料安全点検など、秋冬商戦を前に準備をする月となった。 景況はいまひとつであったが、省エネ実現に向けての動きがあり白物家電中心に成果を上げた。
		石油	原油価格が高値で推移しているため、ガソリンの販売価格は前年同月比で23円上昇している。一部地域では、依然として安値販売競争が続いており、経営環境は改善されていない。
		農機具	
	中古自動車	10月の車両販売価格は前年同月比123.7%、販売台数は同109.2%、平均単価は同113.2%となった。販売台数に大きな変化はないものの、販売単価が上昇したため販売価格(総額)が押し上げられた。	
	商店街	水戸	
		筑西	
	建設業	総合	技術者・職人の不足はさらに重大な問題となっており、特に鉄鋼製作組み立て業の人手不足が深刻である。人手不足の理由として、製作工場が閉鎖されてしまい仕事量が減少しているため。また、オリンピック後の需要が望めないことから設備投資を控えていることが影響していると考えられる。先行きが不安なため積極的に設備投資ができない。
		電気工事	
		管工事	
		交通安全施設	
		鉄筋工事業	
	サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が94.4%、軽自動車が97.4%となり、共に減少となった。
		ホテル・旅館	地域格差はあるものの、売上高・収益状況については宿泊・宴会共に上昇傾向である。 団体客については、会議・大会等により好調に推移している。個人客については、世代・客層・目的等は様々であるが、集客の流れは総じて好調である。

報告者名	茨城県中小企業団体中央会
報告年月	平成30年10月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	10月の当組合の組合員数は117名、車輛台数は150台で9月と比較して増減がなかった。 また、全国連合会での10月の組合員数は8,197名、車輛台数は9,686台で9月と比較して17名減少、25台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の出荷物量は、例年では上期後半に伸びる傾向にあるが今年は伸び悩んだ。また、下期に入って若干出荷物量は増えつつあるものの売上高は横ばいである。そのほか、燃料価格は不安定な状況が続き、また値上げ幅も大きく、収益を圧迫している。
	その他の非製造業	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	パン給食回数の増加要望
小売業	石油	消費税に簡易油税を課税している二重課税の廃止。
建設業	総合	11月から年度下半期になり年度末工事の発注が始まると思われるが、年度末に工事完成が集中する様な発注が少なくなるようご協力をよろしく願いたい。

月次景況調査 10月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	10月	9月	前月比	10月	9月	前月比	10月	9月	前月比
景 況	▲ 6.0	▲ 12.0	6.0	▲ 3.8	▲ 3.8	0.0	▲ 8.3	▲ 20.8	12.5
売 上 高	22.0	▲ 16.0	38.0	15.4	▲ 15.4	30.8	29.2	▲ 16.7	45.9
収 益 状 況	▲ 4.0	▲ 18.0	14.0	0.0	▲ 11.5	11.5	▲ 8.3	▲ 25.0	16.7
販 売 価 格	12.0	8.0	4.0	11.5	7.7	3.8	12.5	8.3	4.2
取 引 条 件	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 3.8	▲ 3.8	0.0	▲ 4.0	▲ 4.2	0.2

# 中小企業月次景況調査(平成30年10月)DI値(前年同月比)

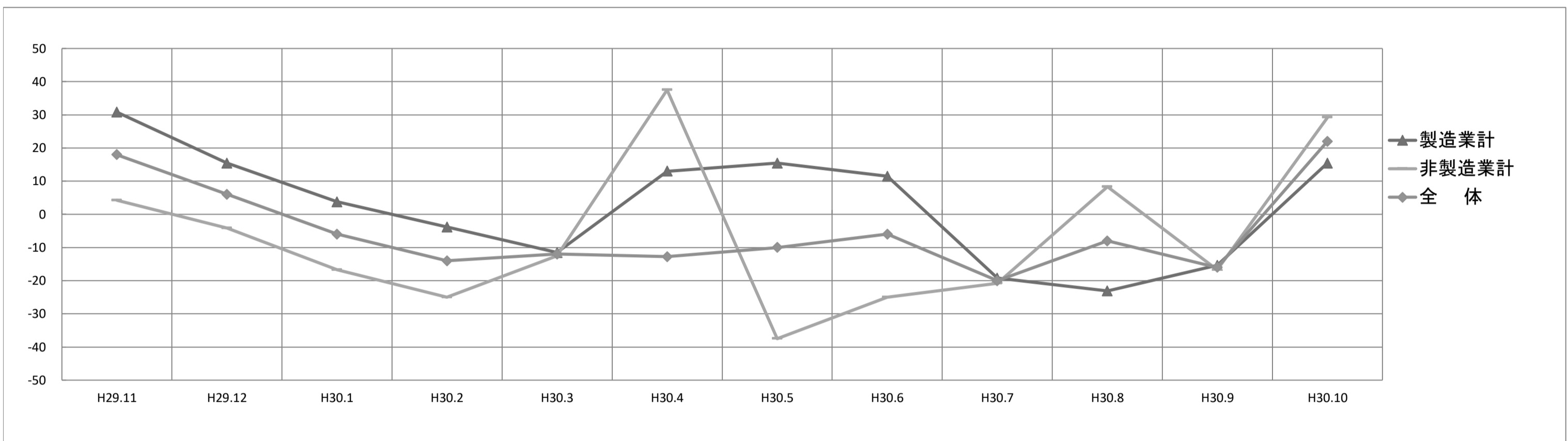
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	0.0	2	2	2	6	△ 16.7	0	5	1	6	33.3	2	4	0	6	0.0	0	6	0	6	33.3	2	4	0	6	16.7	1	5	0	6	16.7	2	3	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	16.7	1	5	0	6
	繊維工業	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3
	木材・木製品	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3
	紙・紙加工品	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 50.0	0	2	2	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4
	鉄鋼・金属	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	一般機器	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2
	電気機器	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
製造業計	15.4	8	14	4	26	△ 3.8	1	23	2	26	11.5	4	21	1	26	△ 3.8	0	25	1	26	0.0	2	22	2	26	0.0	1	24	1	26	11.5	5	19	2	26	△ 7.7	1	22	3	26	△ 3.8	2	21	3	26	
非製造業	卸売業	50.0	3	0	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	1	2	1	4	25.0	1	3	0	4	X				0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	
	小売業 (商店街含む)	45.5	6	4	1	11	0.0	0	11	0	11	9.1	2	8	1	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 27.3	0	8	3	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 18.2	0	9	2	11					
	サービス業	0.0	1	0	1	2	X				50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	1	0	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	1	0	1	2						
	建設業	0.0	1	3	1	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5						
	運輸業	0.0	1	0	1	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2						
	非製造業計	29.2	12	7	5	24	△ 6.7	0	14	1	15	12.5	4	19	1	24	△ 4.2	0	23	1	24	△ 8.3	3	16	5	24	△ 8.3	2	18	4	24	△ 4.2	0	23	1	24	△ 8.3	1	20	3	24					
全体	22.0	20	21	9	50	△ 4.9	1	37	3	41	12.0	8	40	2	50	△ 4.0	0	48	2	50	△ 4.0	5	38	7	50	△ 4.0	3	42	5	50	11.5	5	19	2	26	△ 6.0	1	45	4	50	△ 6.0	3	41	6	50	

## D I 値推移表 (H29.9月 ~ H30.10月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10
食料品製造業	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	16.7	0.0
製造業(食料品製造業以外)	35.0	20.0	10.0	0.0	▲ 15.0	11.8	20.0	10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 25.0	20.0
製造業計	30.8	15.4	3.8	▲ 3.8	▲ 11.5	13.0	15.4	11.5	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 15.4	15.4
卸売業	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 75.0	0.0	▲ 50.0	50.0
小売業(商店街含む)	9.1	18.2	9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	45.5	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	18.2	▲ 18.2	45.5
サービス業	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	0.0	0.0	0.0
建設業	20.0	▲ 40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
非製造業計	4.2	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 20.8	8.3	▲ 16.7	29.2
全体	18.0	6.0	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 12.8	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 20.0	▲ 8.0	▲ 16.0	22.0

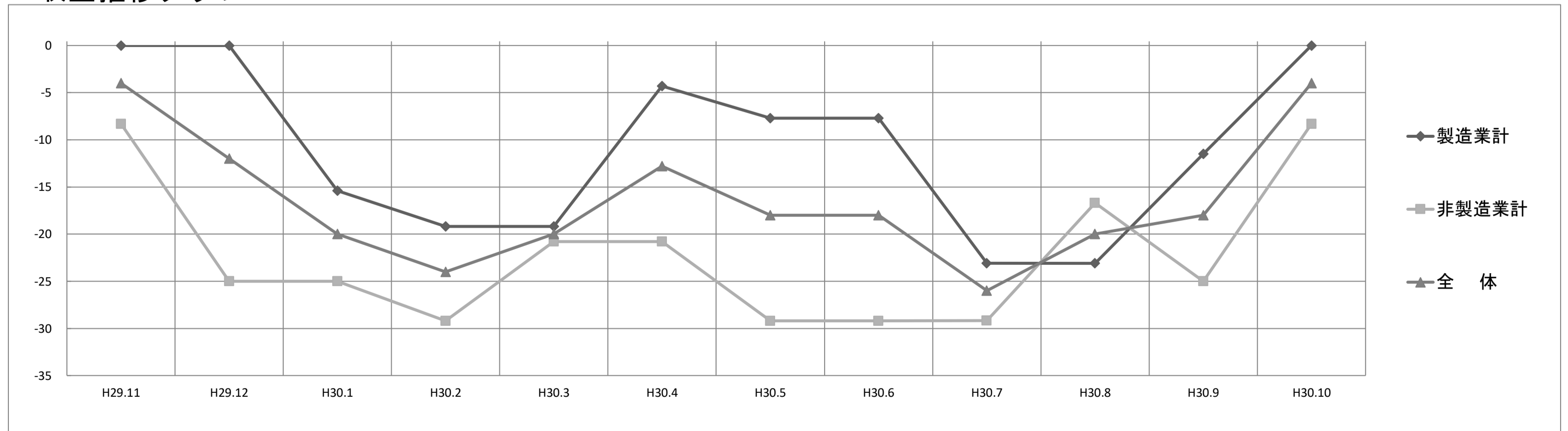
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10
食料品製造業	0.0	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	16.7	33.3
製造業(食料品製造業以外)	0.0	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 5.9	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 10.0
製造業計	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 4.3	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 11.5	0.0
卸売業	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 45.5	▲ 18.2
サービス業	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 8.3
全体	▲ 4.0	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 12.8	▲ 18.0	▲ 18.0	▲ 26.0	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 4.0

### 《収益推移グラフ》

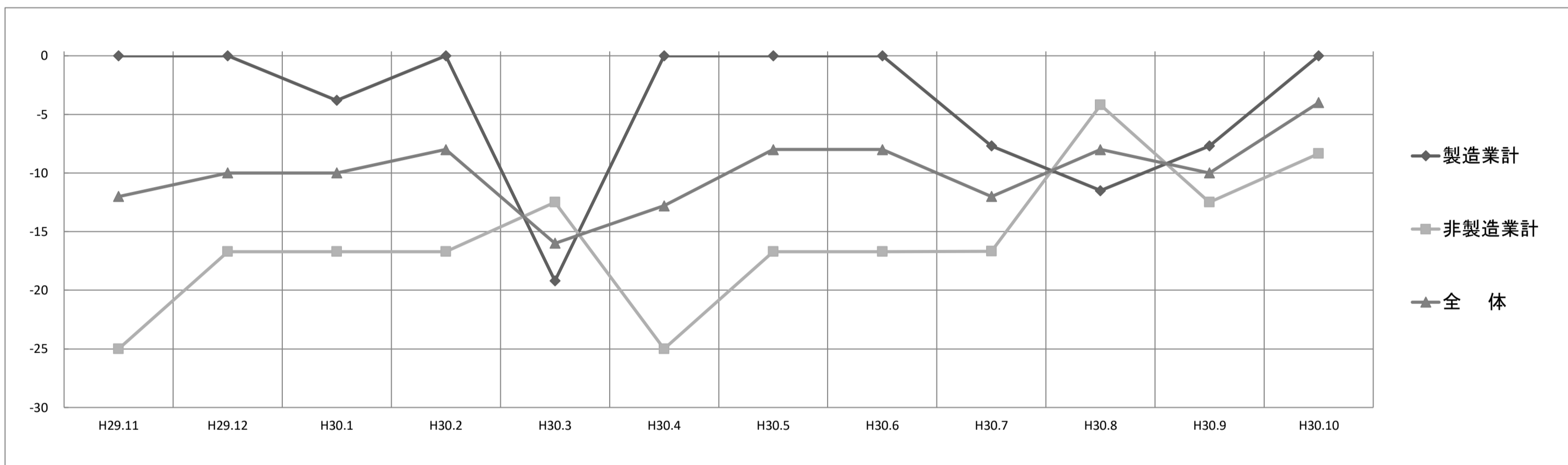


## D I 値推移表 (H29.9月 ~ H30.10月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10
食料品製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	16.7
製造業(食料品製造業以外)	0.0	0.0	▲ 5.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.0
製造業計	0.0	0.0	▲ 3.8	0.0	▲ 19.2	0.0	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 7.7	0.0
卸売業	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0
小売業(商店街含む)	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	0.0	▲ 18.2	▲ 27.3
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 8.3
全体	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 12.8	▲ 8.0	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 10.0	▲ 4.0

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10
食料品製造業	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	▲ 16.7	16.7	33.3	16.7
製造業(食料品製造業以外)	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	5.9	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 15.0	▲ 10.0
製造業計	0.0	▲ 3.8	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 7.7	4.3	0.0	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 3.8
卸売業	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2
サービス業	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
建設業	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 20.8	▲ 8.3
全体	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 8.5	▲ 14.0	▲ 14.0	▲ 8.0	▲ 6.0	▲ 12.0	▲ 6.0

### 《景況推移グラフ》

